

「当院で化学療法・造血細胞移植を受けた症例の妊孕性温存に関する後方視的検討」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター（血液・腫瘍科）では「化学療法・造血細胞移植を受けた患者さん」を対象に「妊孕性温存」に関する研究を実施しています。この研究は化学療法や造血細胞移植を受けた患者さんの妊孕性温存の現状や課題の理解に役に立つと考えております。

研究課題名	当院で化学療法・造血細胞移植を受けた症例の妊孕性温存に関する後方視的検討
研究の対象	当院血液・腫瘍科において、2015年1月から2024年12月の期間に化学療法や造血細胞移植を行った患者さん
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	がん治療の進歩により小児がん全体の長期生存率は向上している一方で、不妊は治療後の重要な晩期合併症の一つとして注目されています。また、小児がん以外でも、再生不良性貧血など造血細胞移植を要する非悪性疾患において、不妊は造血細胞移植後の晩期合併症として重要です。特に、強力な化学療法や放射線治療を要する症例では妊孕性への影響が大きく、治療前の適切な情報提供と妊孕性温存の実施が重要です。近年では妊孕性温存の必要性が広く認識され、臨床現場でもその選択肢が整備されつつありますが、小児の患者さんにおいては発育段階や意思決定能力の問題から対応が困難なことも多いのが現状です。現実には妊孕性温存の実施率は依然として低く、その背景には多くの課題が存在すると考えられます。本研究では、当院で化学療法・造血細胞移植を受けた患者さんを対象に解析を行い、妊孕性温存の実施状況およびその阻害要因について検討することを目的としています。
研究期間	2025年7月～2030年3月31日（予定）
研究に使用する試料・情報の項目	疾患名、原疾患の診断時年齢、妊孕性保存の実施の有無とその理由、治療内容、造血細胞移植症例においてはその移植方法、妊孕性保存による原疾患の治療の遅延の有無、治療後のホルモン補充の有無
試料・情報の取得方法	診療録より取得
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	血液・腫瘍科 柳町 昌克

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルトアレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。又は、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、統計解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
血液・腫瘍科 柳町 昌克  
Tel : 045-711-2351 内線 2212

相談窓口 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
総務課 倫理委員会事務局  
Tel : 045-711-2351 内線 2212

# けんきゅう きょうりょく ねが 研究への協力のお願い



かながわけんりつ いりょう けつえき しゅようか どういん かがくりょうほう そうけつさいほういしよく  
神奈川県立こども医療センター 血液・腫瘍科では「当院で化学療法・造血細胞移植  
を受けた症例の妊孕性温存に関する後方視的検討」について 研究を行っています。  
この研究はどのような患者さんに妊孕性温存（赤ちゃんを作る機能を残すための治療）  
ができていないかを調べることで同じ治療を受ける患者さんの役に立つと考えています。

1 テーマ かがくりょうほう そうけつさいほういしよく かんじゅ にんようせいおんぞん  
化学療法や造血細胞移植を受けた患者さんの妊孕性温存

（たいしやうしゃ ねん がつ～2024ねん がつまでにとうセンターを受診してかがくりょうほう そうけつさいほういしよく  
を受けた患者さん）

2 この研究で皆さんにお願いしたいこと

かがくりょうほう そうけつさいほういしよく うけたひと けんさ けっか にゅういんちゅう きろく  
「化学療法や造血細胞移植を受けた人の検査の結果や入院中のカルテの記録を  
研究に使用するので見せてください（びょうめい ちりょうほうほう  
病名や治療方法など）」

3 けんきゅうきかん ねん がつ にち ねん がつ にち  
研究期間 2025年7月3日～2030年3月31日まで

4 けんきゅう ひと やなぎまち まさかつ  
研究をする人（責任者の名前） 柳町 昌克



この研究は、研究に関するいろいろな決まりを守って行います。皆さんの個人情報や  
プライバシーを守り、研究の結果を発表することがありますが、その時も誰のことかわか  
らないように発表します。

じぶん のことはけんきゅう つか おち せんせい いえ ひと つた  
自分のことは研究に使わないでほしいと思うときは、先生や家の人に伝えてください。

その時はけんきゅう つか つか い びょういん しんさつ  
治療、看護師など医療スタッフの対応は変わりません。よろしくお願ひします。



れんらくさき けんきゅうせきにんしゃ けつえき しゅようか  
連絡先 研究責任者 血液・腫瘍科

やなぎまち まさかつ  
柳町 昌克

でんわ：045-711-2351